



NPO PTPL “ともいき” 便り No.51

平成 26 年（2014 年）5 月 5 日発行

■立夏（りっか） 5 月 5 日から 5 月 20 日までの節気

新緑、新緑、新緑！ 柿の若葉がぬれるように輝いています。日の光が、滑り台のようなその葉の上を、すべって遊んでいるかのよう。そして、もう「夏」という字が今年の暮しに訪れました。自然界はいのち溢れる季節です。茶摘みも始まり、ピッカピカの一年生も教室に慣れ、友だちもできたことでしょう。

「ともいき暦」(<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2014/>) で 5 月 5 日をクリックし、「立夏」の映像と解説をお楽しみください。

ご存知ですか、「日本で最も美しい村」

失ってしまったら二度と取り戻せない貴重で美しい地域の自然景観を、その土地の暮しと共に保ちながら伝えていこうと発案した村や町の連合です。いま、1 番目の北海道美瑛（びえい）町から 5 4 番目の熊本県球磨（くま）村まで、全国で 5 4 の地域が加盟しています。

「効率」を優先する市町村合併が進み、日本列島は地域ごとの風土がもつ独特の景観や生活の在り方が失われつつあるようです。この連合は、地域の暮しの歴史を尊重し、日本それぞれの地方がもつ美しさを共に残して、住む人が語り伝えようと手を上げた住民たちの「和」であり、「輪」なのです。

お手本は「フランスの最も美しい村」

「フランスの最も美しい村」(Les plus beaux villages de France) は 1982 年に設立された協会で、その目的は次のようなものです。

「質の良い遺産を多く持つ田舎の小さな村の観光を促進すること。協会ではブランドの信頼性と正当性を高めるために厳しい選考基準を設けている。協会の定めた基準は種々あるが要約すると次の 3 点。

- ・ 人口が2000人を超えないこと。
- ・ 最低2つの遺産・遺跡（景観、芸術、科学、歴史の面で）があり、土地利用計画で保護のための政策が行われていること。
- ・ 自治体（コミューン）議会で同意が得られていること。

従って景観を破壊するような建物や設備は制限される。このことで経済発展は妨げられるが観光の面ではプラスになる。また、認定後にも審査があり、資格が剥奪されることもある。2009年10月現在で151のコミューンと数千の会員を有している」

同じ趣旨の協会は、ベルギーの「ワロン地域の最も美しい村」や、イタリアの「イタリアの最も美しい村」、カナダ・ケベック州の「ケベックの最も美しい村」などに広がりました。（以上、ウィキペディア要約）

そして、日本では2005年10月に7つの村でスタート。

2008年「フランスで最も美しい村」を訪問

妻とぼくは2008年6月に参加したツアーで「フランスで最も美しい村」のいくつかを体験したのです。なんとすばらしい制度だろうと感銘共感し、日本にもできたらと思いました。

最初に訪れたのは「天空のコルド」(Cordes-sur-Ciel) 村。面積8.27平方Km。人口1000人足らずで、その名の通り小高い山の上（標高320m）にある村でした。起源は1222年にトゥールーズ伯爵による要塞建築。その後の変遷を経て、現在も中世の町並みを残す観光地となり、種々のアーティストが村民になっていました。ほかにコンク、カオール、ロカマドゥールなどの村。村々にはその地域ならではの歴史的な建造物、産物の展示や店があり、異国の旅行者にも楽しめました。

「フランスで最も美しい村」は「ともいき」の村

この制度は私たちのNPOが呼びかけている「ともいき」の価値観によく似ています。「自然と共に、人と共に、祖先・子孫と共に、歴史と共に、支え合い、分かち合い」などなどで成り立っているからです。

「平成の大合併」の多くが効率化を目的として、「箱もの」づくりに巨額の金を投入。作ったけれど利用者が少なく、費用がかさむばかり。破綻の危機にある自治体が増えているという国家的失敗が、いま問題になっています。

地域に根ざした「美しい村」の発想こそ、これからの日本の進むべき方向を示していると思います。日本の目的が「環境立国」「観光立国」であるならば、「ともいき」価値観で実現する「美しい村」に目覚めて、さらに多くの村が増え国際的な連合に参加することが願わしいと思うのです。

文：朝倉 勇 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

◎ 詳しく知りたい方は下記どうぞ。美しいパンフレットができています。

NPO「日本で最も美しい村」連合 <http://www.utsukushii-mura.jp>

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-10-4 丸石ビル

電話：03-5577-5943 FAX：03-5577-5894

※「フランスの最も美しい村」はウィキペディアで読むことができます。

■ ともいき・ともうみ雑感彼是

新緑、百花繚乱、春たけなわ、そして季節は立夏へ。

落葉樹は若葉に覆われ、常緑樹も若々しい新芽を出し、古い葉を落とし始めました。(常盤木落葉・ときわぎおちば)

こんなにも緑の色が豊富にあるとは！！

新緑と花、そして太陽の光、春風、小鳥のさえずり、飛び交う蝶……。何か、安心感が漂います。自然がわれわれ人間に「大丈夫。安心、安心。」といているようです。

近所をあてもなく散歩していると、ハナミズキとプラタナスの街路樹が目につきます。ハナミズキは紅白の平たい花を咲かせ、プラタナスは強い剪定をした枝から新芽が出始めています。私はプラタナスの樹肌の斑紋が面白く、しばらく観察していました。

プラタナスは、おそらく日本では、というより世界で最も広く、多く使われている街路樹ではないでしょうか。

そして「自然教育園」に到着、せせらぎに水の流れる音を聞いた時、水道の蛇

口の音しか聴いていない毎日、自然の水の流れ、そしてその音の素晴らしさに驚嘆しました。

町に川を取り戻したいものですね。春夏秋冬で、流れる水の表情も変化し、流れる音も変化することでしょう。

木々がそろって芽吹く時は、四季のうちでも最も生気に満ち、人みな生きている幸せを、生きることのありがたさを実感する時でしょう。

「春は極まり、極まれば夏が萌す。」5月5日は立夏です。あちらこちらで夏の先触れが感じられることでしょう。

●人と人、人と自然のコミュニケーションの豊かな社会。人への、自然への思いやり、いたわり、やさしさの溢れた社会づくりを目指しましょう。



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■ 事務局だより

- 立夏の節気期間中はゴールデンウィーク期間にもあたります。皆さまはどのようにお過ごしですか？

この時季は、木々も新芽や若葉に覆われ、いろんな緑色があるということが実感できます。そしていろいろな色鮮やか花たち、まさに百花繚乱です。この休日は、さわやかな風を感じ、やさしく暖かい日差しを浴びながら近くの公園などに出かけてのんびりしながら、日ごろの疲れを取るのもいいですね。

- この事務局だよりでも、たびたびご案内していますが、NPO PTPL が企画協力しているイベント【東京二十四節気ウオーク 穀雨：テーマ「藤」】が4月29日の「昭和の日」に開催されました。穀雨にふさわしいような空模様でしたが、300人以上の多くの参加者が集まりウオーキングを楽しみました。コースの終盤では国領神社（東京都調布市）の境内の藤棚には見事な藤がたくさん垂れ、多くの見物客で賑わっていました。

- Facebook「ともいきぐらし (<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>)」並びに「おらが富士計画 <https://www.facebook.com/oragafuji>」をご覧ください。そしてご意見、ご感想をお寄せください。お待ちしております。

- ジャパネスクサイトもご覧いただき、そしてご意見、ご感想をお寄せください。お待ちしております。

■お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階
電話：03-6205-7503
FAX：03-6205-7504
Email：info@plantatree.gr.jp